

天理教一れつ会の扶育について

—天理教語学院 日本語科 志願者のために—

■趣旨

天理教一れつ会は、本教の信仰者およびその子弟を扶育し、有為のようぼく育成に努める扶育財団である。従って、一れつ会は、学資を渡すだけの単なる奨学の機関ではなく、あくまでも学資の世話取りと共に道の子弟育成を本旨とする縦の伝道機関である。

その上から、天理教語学院日本語科に就学する道の信仰者およびその子弟に対して扶育の道が開かれているものである。扶育出願については直属教会長の保証ならびに海外部長の推薦を必要としている。

また、扶育生は在学中に別席順序を運び、おさづけの理を拝戴し、もって卒業後は世界たすけの一翼を担う人材となる責任がある。

志願者は上記の趣旨をよく承知して願い出るようにして頂きたい。

■出願期日

8月15日～9月20日

■願書の申請および提出先

海外部(窓口は天理教語学院事務所)

■提出書類(所定データファイルに入力後、印刷し、書面とデータを共に提出)

天理教語学院 日本語科扶育願 (1p)

扶育出願にあたっての思い (2p)

推薦保証書 (3p)

■扶育内定の発表

10月下旬、一れつ会より直属教会長に、書面をもって通知する。

天理教海外部

【扶育願書入力上の注意】

- ・願書の各欄は漏れ落ちのないように入力すること。
- ・虚偽の内容があった場合は、扶育決定後であっても取り消される。
- ・ファイルに入力後、各拠点長（海外部担当地域課長）の承認記名を得てから印刷し、直属教会長が署名捺印の上、書面とデータを共に提出すること。

1 ページ

〔所属教会長〕

- ・所属教会長が親、兄弟である場合は、最も近い上級教会長がデータファイルに記名入力すること。
- ・最も近い上級教会が直属教会の場合は、保護者が教会長の立場でもデータファイルに記名入力すること。
- ・伝道庁、出張所、連絡所などの置かれている地域からの出願者は、事前に拠点長の承認（データファイルへの記名入力）を得ること。これに該当しない地域の場合は、天理教海外部担当地域課長の承認（データファイルへの記名入力）を得ること。

2 ページ

〔扶育出願にあたっての思い〕

- ・必ず、①は本人、②は保護者、③は育成担当者が、それぞれデータファイルへ入力すること。

3 ページ

〔推薦保証書〕

- ・データファイルへの入力完了後に印刷し、紙面に直属教会長が署名捺印すること。
- ・海外部長の署名捺印欄は空欄のままで提出すること。

【校納金、寄宿費、生活諸費の金額について】

校納金	年間	390,000円（入学金 30,000円、授業料 360,000円）
寄宿費	年間	396,000円（月額 33,000円×12）
生活諸費	年間	60,000円（月額 5,000円×12）

【扶育号数について】

I 号：校納金、生活諸費

II 号：校納金、寄宿費、生活諸費

尚、扶育の審査に関しては、天理教語学院 日本語科の出願書類を参考にする。